

実務経験のある教員等による授業科目

シラバス

マンガ・イラスト学科

キャラクターイラストコース

授業科目		授業時数
デッサン		180
学年	学科	コース
1	マンガイラスト学科	キャラクターイラスト
担当講師(プロフィール)		
山本まゆみ・樋口晃史 (両名ともに美術系大学を卒業後、作品展、個展等を行い現在も作家として活動)		
前 期		
到達目標		
明暗や立体のとらえ方を理解する		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
1	基礎デッサン	円筒形(前半 石膏 後半 植木鉢) 鉛筆の削り方 クロッキー
2	基礎デッサン	立方体(前半 白立方体 後半 立方体・ワイン瓶2)
3	基礎デッサン・色彩構成	前半 球体(石膏球) 後半 バスケットボール
4	デッサン	ブロック・軟式テニスボール
5	デッサン	オイル缶・紙風船 レタリング
6	石膏デッサン①	石膏デッサン 1回目 ・ミロのビーナスorメデチorブルータス ・アグリッパorラポルトor獅子冠女神
7	石膏デッサン①	石膏デッサン 1回目 ・ミロのビーナスorメデチorブルータス ・アグリッパorラポルトor獅子冠女神
8	石膏デッサン②	石膏デッサン①で描いていない像 顔クロッキー導入(コンテ、ダーマトグラフ)
9	石膏デッサン②	石膏デッサン①で描いていない像 顔クロッキー導入(コンテ、ダーマトグラフ)
10	デッサン	手二態 構図、空間、疎と密などの説明 注！指5本の存在がわかるポーズを描く
11	デッサン	自画像 胸から上、少し斜めから描く
12	色彩構成	前半16面体 後半あまい・からいの表現
13	着色描写	前半ハートランド瓶 後半赤リンゴ
14	デッサン(人物) ☆デッサン強化 DAY	着衣人物デッサン(座りポーズ) 2人交代でポーズ (デッサン強化DAYのため4時間授業)
15	デッサン(人物)	午前→他クラス学生ボランティアモデル 午後→顔スケッチ(交代でモデルになる)コンテ、ダーマトグラフ、透明水彩等使用

授業の方法	
講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習	
授業概要	
表現力の土台となるデッサン力を基礎から身につける。	
使用教材:	
後 期	
到達目標	
様々なモチーフの描き方を理解する	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
1	デッサン ハートランド瓶、リボン、レンガ モチーフの配置、構図について
2	デッサン・着色 前半 ビール瓶(デッサン) 後半 ビール瓶(着色)
3	石膏デッサン③ ・カッパのビーナスorアポロor ギリシャ婦人像 ・アリアスor闘士像orカラカラ帝
4	石膏デッサン③ クロッキー強化週間 ・カッパのビーナスorアポロor ギリシャ婦人像 ・アリアスor闘士像orカラカラ帝 4.5週目はクロッキー強化週間のため4時間授業
5	石膏デッサン③ クロッキー強化週間 ・カッパのビーナスorアポロor ギリシャ婦人像 ・アリアスor闘士像orカラカラ帝 4.5週目はクロッキー強化週間のため4時間授業
6	果実or野菜2個 ワイン瓶 果物、野菜は各自持参する。モチーフの配置、構図について
7	着衣人物 午前→男性座りポーズ(鉛筆デッサン) 午後→女性色々ポーズ(スケッチ)(コンテ、ダーマトグラフ、透明水彩等使用)
8	ヌードクロッキー 5分～40分ポーズ
9	ヌードデッサン 女性立ちポーズ 5分X4ポーズ クロッキー 20分X14固定ポーズ 鉛筆デッサン
10	想定描写「球と階段」 石膏球(直径1メートル)3個以上と任意の階段を想像して描く。(各自が用意した階段の画像を参考にしても良い)
11	想定描写「球と階段」 同様
12	デッサン 花(百合の花)(デッサン強化DAYのため4時間授業)
13	着色描写 ユッカの木 透明水彩で植物を描く
14	デッサン 特大自画像①
15	デッサン 特大自画像②

授業科目		授業時数
キャラクターデザイン		120
学年	学科	コース
1	マンガ・イラスト	キャラクターイラスト
担当講師(プロフィール)		
松村 陽子 (連載マンガ、コミック本出版などの経験から自身書き下ろしの漫画の書き方本「マンガの上達レッスン」出版などの経歴があり、ストーリーマンガを中心に幅広く活躍)		
前 期		
到達目標		
ペンテクニックの基本とキャラクターの描き方の基礎を身につける		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	基本の描き方	原稿用紙・各ペン先の使い方
2	頭部の描き方①	頭・首のトレース
3	頭部の描き方②	基本的(リアル)な顔、頭の形の描き方
4	頭部の描き方③	髪の描き方
5	頭部の描き方④	①～③を元に、オリジナルキャラクターを作る(p.10～p.17、
6	全身を描く	基本的(リアル)な全身が描かれた、練習用紙をトレースする
7	下半身の描き方①	基本的(リアル)な足が描かれた、練習用紙をトレースする
8	下半身の描き方②	基本的(リアル)な腰・尻周りの描き方
9	下半身の描き方③	基本的(リアル)な足先の描き方。足指・靴を履いた足など
10	上半身の描き方①	基本的(リアル)な上半身が描かれた、練習用紙をトレースする
11	上半身の描き方②	基本的(リアル)な胸・肩・首・腕の描き方。オリジナルキャラでの描き方
12	上半身の描き方③	基本的(リアル)な手先の描き方。オリジナルキャラでの描き方
13	トーン表現 夏休み前	スクリーントーンの使い方。基本の切る・貼る・削る
14	影のつけ方 夏休み明け	アニメ風に、人物に影をつける
15	年齢別描き方	赤ちゃん～15才くらいまでのキャラクターの描き方

授業の方法	
講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習	
授業概要	
漫画・イラスト風の人物キャラクターを描けるように、1年かけて習得する。	
使用教材：	
後 期	
到達目標	
高度なキャラクターの描き方やそれに付随した服などの描き方を身につける	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1	体型別 秋休み明け
2	アオリ顔①(正面)
3	アオリ顔②(斜め前)
4	アオリ全身①(正面)
5	アオリ全身②(斜め前)
6	フカン顔①(正面)
7	フカン顔②(斜め前)
8	フカン全身①(正面)
9	フカン全身②(斜め前)
10	動き人物
11	マンガの描き方 冬休み前
12	物と大きさ 冬休み明け
13	服のシワ
14	着物
15	重なり合った人物 終了